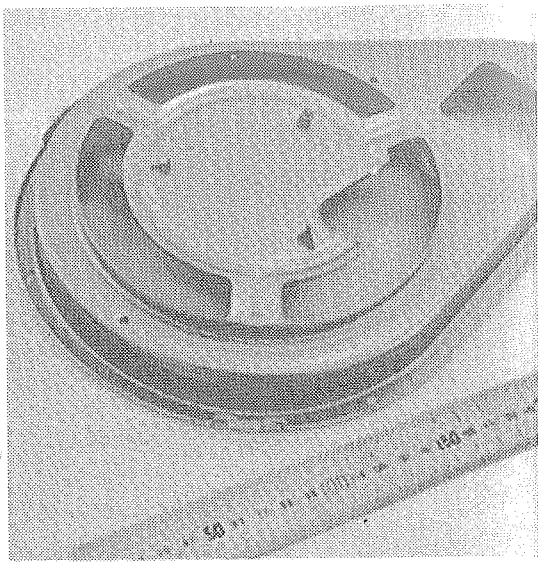

岐阜工場で手掛ける燃焼器部品

工が主力事業。通電性や絶一が出席した。

貸し切りゲストハウスを展開するブラスが運営するフレンチレストラン「クルヴェットダイニング」（名古屋市中村区）は、母の日に合わせた限定コース「キャビア・フォアグラ・トリュフ尽くしディナー」を提供している。

三大珍味を、定番料理から一風変わったアレンジまで、さまざまな形で楽しめる。担当者は「母の日に『もの』ではなく『贅沢で特別な時間』をプレゼントしてみては」と話している。花束などの追加注文にも応じる。

土、日曜を除く17日まで。コースはディナー限定で、料金は1万800円（税・サービス料込）。要予約。問い合わせは同店（電話052・561・1133）まで。

母の日に合わせた限定コースを提供
ブラス運営のレストラン

の後、懇親会を行い参加者

全な住宅・宅地の供給と発展を目指し、調査・研究や政策提言などの活動を行っている。正会員数は51社。

名市大の学生が提案 改札内店舗オープン
15日、上前津駅に

名古屋市立大学（名古屋市）の学生が提案した改札内店舗が15日、市営地下鉄上前津駅に開業する。名市

着眼大局 着手小局

答えを求められる人間力

❖19❖

リーダーの視点から全体へ語りかける視点へ

"Yes! We Can"

サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の真っ只中、2009年1月に米国大統領にバラク・オバマ氏が就任しました。米国立て直しに向けたオバマ氏の演説に度々登場したこのフレーズは、多くの人たちに力強い共感を与え、主体的な行動を促しました。

多くの人たちを巻き込む。今回は、そんなことばについて考えていきます。

全員が一丸となっているチームは前に進んでいく力は強く、また、その力は継続するものです。それでは、一体感を生み出し、それを継続していくためには、どのような考え方をし、どのようなことばを使ったらよいのでしょうか。

重要視したいのは、オバマ氏のフレーズにある"We"の視点です。「私たち」「我々」「僕ら」といった複数形である第一人称の主語を使うことです。たとえば、提案書や企画書などを対外的に発表するとき、それが、たとえメンバーのうちの一人が作り上げたものであったとしても、「私たちの提案は」と言ったり、議論を交わすときにも「我々はそのようには考えません」という言い方を使ったりすることで、「チーム全体の仕事」という意識を高めていくことができます。

"共感"生む2文字を意識

本来、「あなた」や「君」という主語を使うときに、この「私たち」や「我々」ということばに切り替えて使うことは、共感を生みだす効果が高まります。

たとえば、所属メンバーとのコミュニケーションにおいて一線を引き、自分の役割について限定をしたがる傾向にある人がしばしば見受けられます。そのような人に対しては、「それ、あなたの仕事ですよね」と言ってしまうと、突き放すような印象を当事者やそれを聞いた他のメンバーに与えてしまいます。しかし、「それは、私たちの仕事ですよね」と言い換えることだけで、随分と印象が代わります。

また、「私はこのように考えています」と言うのか、「私たちはこのように考えています」と言うのかで、相手に与える印象、力強さは大きく違います。つまり、たった二文字の「たち」という文字が加わるだけで、大きな違いがあります。

この言い換えを意識して繰り返していくと、自分の影響力はもちろんのこと、まわりの空気が変わってくるのを感じるはずです。そしていずれ誰かが、同じように「私たち」と言い始めるときが必ず来ます。その瞬間こそが「私たち」のチームが大きな存在として変革していく契機になるのではないでしょうか。

【加藤滋樹・プレジデントワンコミュニケーション・アナリスト】

（毎週土曜日に掲載）